Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-578A

準備する
各部のなまえ
再生する
いろいろな機能を使う
他機器との接続
設定をする
その他

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例: など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

ファイナライズしてから再生してください

DVDレコーダー

本機

DVD-R/-RW
ディスク

※DVDレコーダーでビデオモード記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ (録画終了処理) してください。

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⊘ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

プラグを抜け

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

プラグを抜け

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

使用環境

水ぬれ禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場・シャワー室での使用禁止

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

100V以外禁止

- 表示された電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

水ぬれ禁止

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれ手禁止

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

分解禁止

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

接触禁止

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

必ず行う

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

禁止

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

禁止

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(＋)マイナス(—)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

目次

準備する

再生できるディスクの種類

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVD	DVD ビデオ	DVD オーディオ	DVD-R	DVD-RW
ファイル／フォーマット	DVDビデオ	DVDオーディオ	DVDビデオ	DVDビデオ DVD-RW(VR)

CD	ビデオ CD	SACD	CD	CD-R	CD-RW
ファイル／フォーマット	ビデオCD	SACD	CD(R/RW)	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG

フジカラー CD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE　FUJICOLOR CD COMPATIBLE　：このマークは、富士写真フイルム(株)の商標です。
コダックピクチャー CD	

コピーコントロール CD について
当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類
DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンが「2」「ALL」以外の DVD ビデオなど

■ 本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

DVDビデオ　市販のDVDビデオ、またはビデオモードで記録されたDVD-R/RW

DVDオーディオ　市販の DVD オーディオ

DVD-RW(VR)　VR モードで記録された DVD-RW

ビデオCD　ビデオ CD

SACD　市販の SACD（スーパーオーディオ CD）

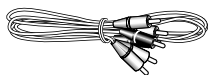
市販の音楽用 CD、または CDDA フォーマットで音楽が記録された CD-R/RW

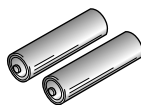
WMA/MP3　WMAまたはMP3ファイルが記録された CD-R/RW/ROM

JPEG　JPEG ファイルが記録された CD-R/RW/ROM

付属品の確認

リモコン

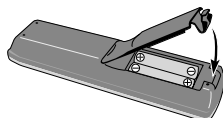
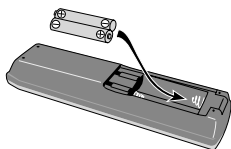
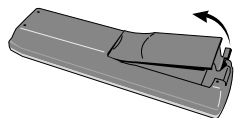
オーディオ・ビデオコード

電源コード

単3形乾電池(R6P・2本)

- 保証書
- 取扱説明書(本書)

リモコンに電池を入れる

① 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く。

② ケース内に表記されている極性 ⊕ (プラス)/⊖ (マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる。

③ フタを矢印の方向に閉める。

☑ 注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1カ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

テレビに接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

電源コンセントへ
(AC 100V, 50/60Hz)

本機

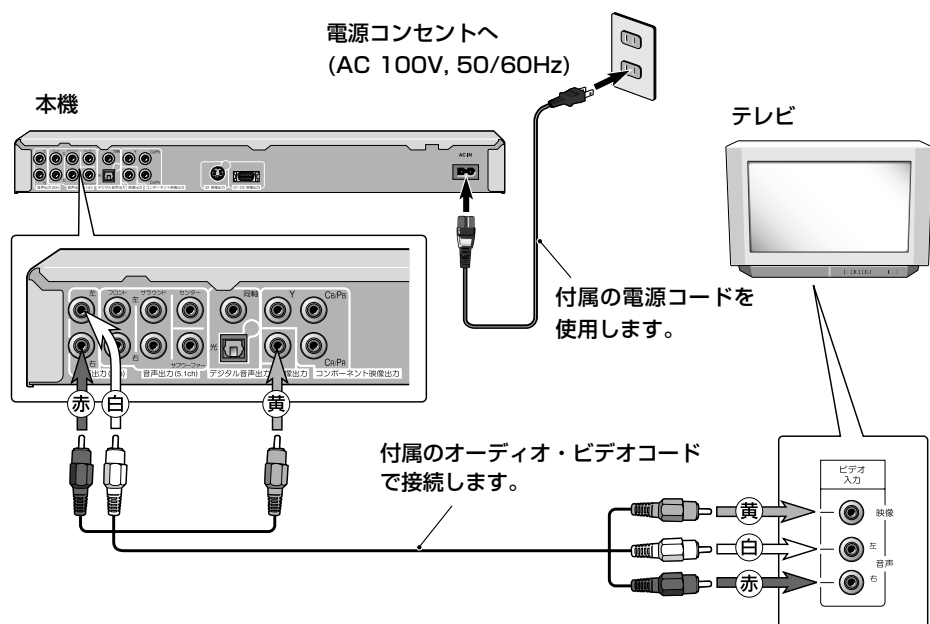
テレビ

付属の電源コードを
使用します。

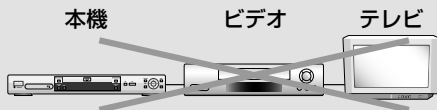
赤 白 黄

付属のオーディオ・ビデオコード
で接続します。

黄 白 赤

ビデオ入力
映像
左
音声
右

☑ 注意

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、ビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

本機　ビデオ　テレビ

Q&A

Q1: 5.1 チャンネルサラウンドサウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？

→ **P.30, 31** をご覧ください。

Q2: S 映像端子、コンポーネント映像端子、D 映像端子、モノラル音声入力端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.32-33** をご覧ください。

設定画面の操作のしかた

本機では、いろいろな場面でテレビに表示される設定画面を使用します。

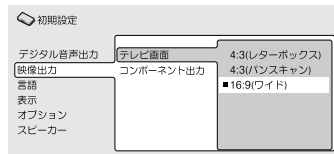
1 リモコンの⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンで項目を移動する

2 決定ボタンで項目を決定する

よく使うボタン

	ホームメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面を終了する(**設定は保存されません**)。
	項目を選択 / 変更する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

テレビの種類を選ぶ

ワイドテレビ (16:9) をお使いの場合、テレビ画面のタイプの設定をしてください。
従来の画面タイプのテレビ (4:3) をお使いの場合は、この設定をせずにお使いいただけます。
詳しくは **P.36** をご覧ください。

1 リモコンのホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 ⬇ボタンで[初期設定]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬇ ボタンで[映像出力]を選択する

4 ➡ ボタンで[テレビ画面]を選択する

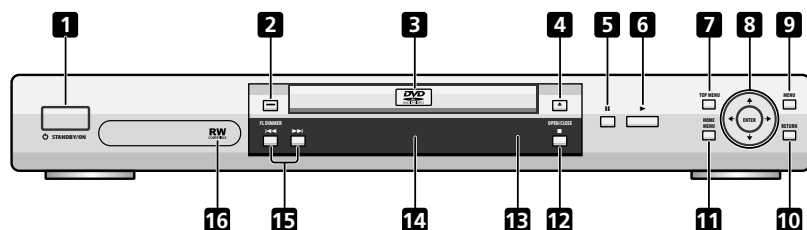
5 ➡/⬇ ボタンで[16:9(ワイド)]を選択して、決定ボタンを押す

6 ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる

☑ メモ

- 本機の操作(本体、またはリモコンで)を約５分間行わないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます。

各部のなまえ

本体前面

1 ⏻ **STANDBY/ON** — 電源を入れる/切る(**P.13, 14**)。

2 **FL DIMMER** — 本体表示窓の明るさを消灯から通常点灯まで4段階に切り換える。表示窓を消灯すると、このボタンが点灯する。

3 **ディスクテーブル(P.13)**

4 ⏏ **OPEN/CLOSE** — ディスクテーブルを開閉する(**P.13**)。スタンバイ状態では電源が入り、ディスクテーブルが開く。

5 ❚❚ — 映像/音声を再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.13**)。

6 ► — ディスクを再生する(**P.13**)。

7 **TOP MENU** — DVDビデオ DVDオーディオの最上層のメニュー画面を表示する。

8 ⬆ ⬇ ⬅ ➡— 項目を選択/変更する。

ENTER — 設定/選択した項目を実行する。

9 **MENU** — DVDビデオでは、ディスクメニューを表示する。DVD-RW(VR) ビデオCD WMA/MP3 JPEGでは、ディスクナビゲーターを表示する(**P.14, 22, 23**)。

10 **RETURN** — 初期設定画面やメニュー画面などが表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻る。

11 **HOME MENU** — ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。

12 ■ — ディスクを停止する(**P.13, 14**)。

13 **リモコン受光部** — 約7m以内の距離から、ここにリモコンを向けて操作する。

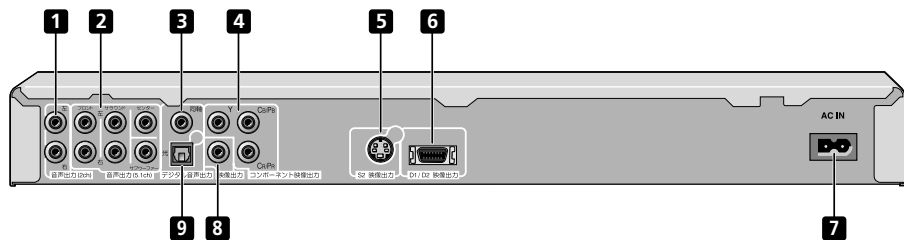
14 **表示窓(P.11)**

15 ⏮/⏭ — チャプター/トラックを頭出しする(**P.17**)。

16 **RW** COMPATIBLE — DVD-RW(VR)が再生できる機能を示しています。

☑ メモ

- 本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けづらくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください。

本体後面

1 音声出力(2ch)端子(**P.8, 30, 32**)

2 音声出力(5.1ch)端子(**P.31**)

3 同軸デジタル音声出力端子(**P.32**)

4 コンポーネント(Y、CB/PB、CR/PR)映像出力端子(**P.33**)

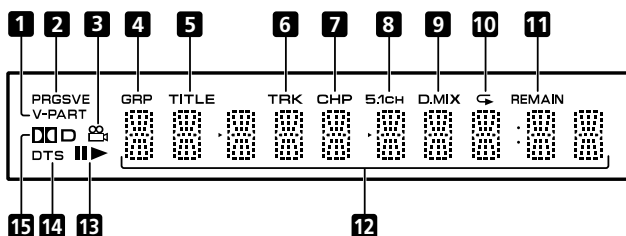
5 S2映像出力端子(**P.33**)

6 D1/D2映像出力端子(**P.33**)

7 電源コード接続端子(**P.8, 30, 31**)

8 映像出力端子(**P.8, 30, 31**)

9 光デジタル音声出力端子(**P.30, 32**)

表示窓

1 DVDビデオ DVDオーディオ 再生中、映像信号のある場面で点灯

2 映像出力方式でプログレッシブが選択されているときに点灯(**P.37**)

3 アングルを変更できる場面で点灯(DVDビデオのみ)(**P.24**)

4 グループ番号が表示されているときに点灯

5 タイトル番号が表示されているときに点灯

6 トラック番号が表示されているときに点灯

7 チャプター番号が表示されているときに点灯

8 [**音声出力モード**]の設定で[**5.1チャンネル**]を選択しているときに点灯(**P.41**)

9 マルチチャンネル音声をダウンミックスして再生している時に点灯(**P.41**)

10 リピート再生中に点灯

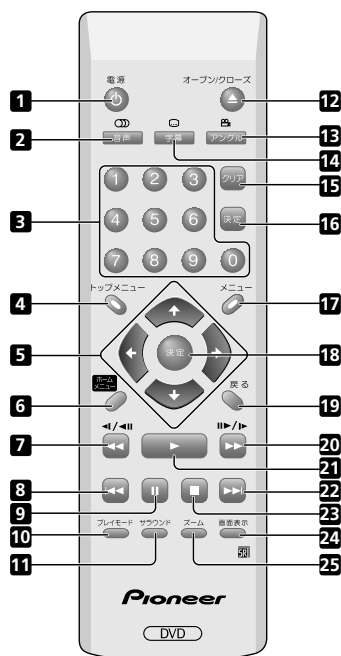
11 タイトル/チャプター/トラックの残り再生時間が表示されているときに点灯

12 いろいろな情報を表示する

13 ディスクを一時停止または再生しているときに点灯

14 DTS音声を選択して再生しているときに点灯

15 ドルビーデジタル音声を選択して再生しているときに点灯

リモコン

1 ⏻ **電源** — 電源を入れる/切る(**P.13, 14**)。

2 **音声** — DVDビデオの音声言語、2重音声で記録されたDVD-RW(VR)、またはDVDオーディオ ビデオCD CD(R/RW) の音声を切り換える(**P.26**)。

3 **数字** — 見たい/聞きたいタイトル/チャプター/トラックを指定して再生したいとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使う。**数字ボタン**で選択して**決定ボタン**を押す(**P.17**)。

4 **トップメニュー** — DVDビデオ DVDオーディオの最上層のメニュー画面を表示する。

5 ⬆ ⬇ ⬅ ➡— 項目を選択/変更する。

6 **ホームメニュー** — ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。

7 **◀◀ /◀Ⅰ/◀ⅠⅠ** — 再生中、映像や音声の早戻しをする。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生、押し続けると逆方向にスロー再生をする(**P.16**) 。

8 **|◀◀** — 現在再生中のチャプター/トラックの始めに戻る(**P.17**)。

9 **ⅠⅠ** — 映像/音声を再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.13**)。

10 **プレイモード** — プレイモード画面を表示する(**P.18-21**)。ホームメニューボタンを押して、ホームメニューからプレイモード画面を選択することもできます。

11 **サラウンド** — バーチャルサラウンド(立体音場)機能をオン/オフにする(**P.27**)。

12 **⏏ オープン/クローズ** — ディスクテーブルを開閉する(**P.13**)。

13 **アングル** — DVDビデオのアングルを切り換える(**P.24**)。

14 **字幕** — 字幕言語を切り換える(**P.26**)。

15 **クリア** — プログラム再生で設定した内容を取り消す。

16 **決定** — 設定/選択した項目を実行する。

17 **メニュー** — DVDビデオでは、ディスクメニューを表示する。DVD-RW(VR) ビデオCD WMA/MP3 JPEGでは、ディスクナビゲーターを表示する(**P.14, 22, 23**)。

18 **決定** — **16** と同じ。

19 **戻る** — 初期設定画面やメニュー画面などが表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻る。

20 **▶▶ /ⅠⅠ▶/Ⅰ▶** — 再生中、映像や音声の早送りをする。一時停止中に押すとコマ送り再生、押し続けるとスロー再生をする(**P.16**)。

21 **▶** — ディスクを再生する(**P.13**)。スタンバイ状態では電源が入り、ディスクを再生する。

22 **▶▶|** — 次のチャプター/トラックの始めに送る(**P.17**)。

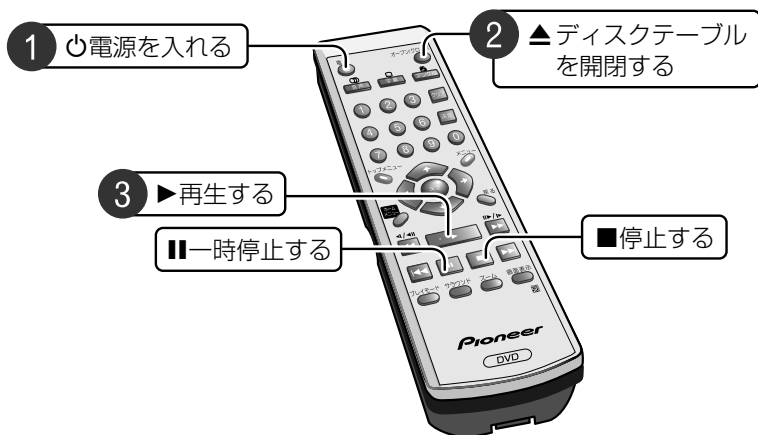
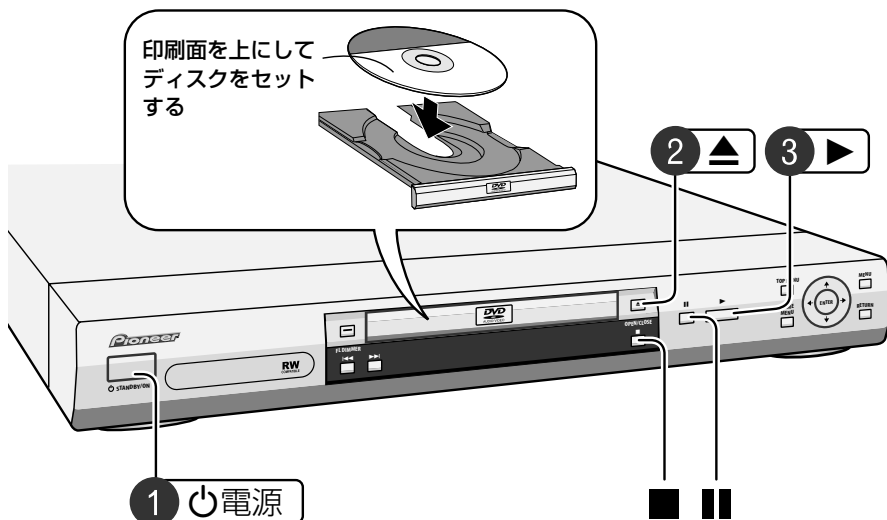
23 **■** — ディスクを停止する(**P.13, 14**)。

24 **画面表示** — ディスクの情報を表示する(**P.25**)。

25 **ズーム** — 映像を拡大する(**P.24**)。

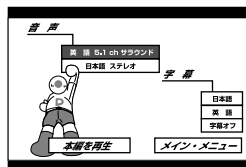
再生する

ディスクを再生する

あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力を切り換えておいてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

☑ メモ

- ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるDVDもあります。

■ メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面 (ディスクメニュー) を表示するディスクがあります。ディスクメニューの内容や操作方法はディスクによって異なります。ビデオCDのメニュー画面の操作方法については **P.25** をご覧ください。

1 リモコンの ⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンまたは数字ボタンで選択して、決定ボタンを押す。

☑ メモ

- 画面の上下に黒い帯がつく DVD があります。本機の故障ではありません。

■ 止めたところから再生する (リジューム再生)

■**ボタン**を押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します(リジューム機能)。また、ディスクを取り出してもDVD5 枚、ビデオ CD1 枚分の停止した場所を記憶しています(ラストメモリー機能)。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。停止中に ■ **ボタン**をもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

☑ メモ

- DVDオーディオ SACD では、リジューム機能が働きません。また、DVD-RW(VR) DVDオーディオ SACD CD(R/RW) では、ラストメモリー機能が働きません。
- ラストメモリー機能では、別のディスクを記憶すると前のディスクのメモリーが消去されます。
- ラストメモリーを記憶させたくない場合は、■ **ボタン**を押さずに ⏏ **ボタン**でディスクを停止して、取り出してください。

■ 電源を切る

電源を切る前にディスクを取り出しましょう。

1 本体の⏻STANDBY/ONボタンまたはリモコンの ⏻ 電源ボタンを押す

☑ メモ

- 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[-OFF-]表示が消えていることを確認してください。[-OFF-]表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時の状態に戻ることがあります。

Q1: 映像が映らない！

- → オーディオ・ビデオコードが正しく接続されていますか？(**P.8, 30, 31**)
- → テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。
- → プログレッシブ対応していないテレビに接続しているときに[**プログレッシブ**]を選択していませんか？(表示窓(**P.11**)の[PRGSVE] が赤く点灯していませんか？)。本体の⏮ **ボタン**を押しながら⏻**STANDBY/ONボタン**を押して、[**インターレース**]に切り換えてください(**P.37**)。

Q2: リモコンで操作できない！

- → 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲内で操作することができます。
- → リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください(**P.10**)。
- → 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

Q3: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない

- → ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
- → ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。
- → リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「**2**」と「**ALL**」のみです(**P.53, 56**)。
- → 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください(**P.58**)。

Q4: ビデオCD CD(R/RW)が再生できない。

- → パソコンで作成されたビデオCD CD(R/RW)は再生できないことがあります。

Q5: WMA/MP3が再生できない。

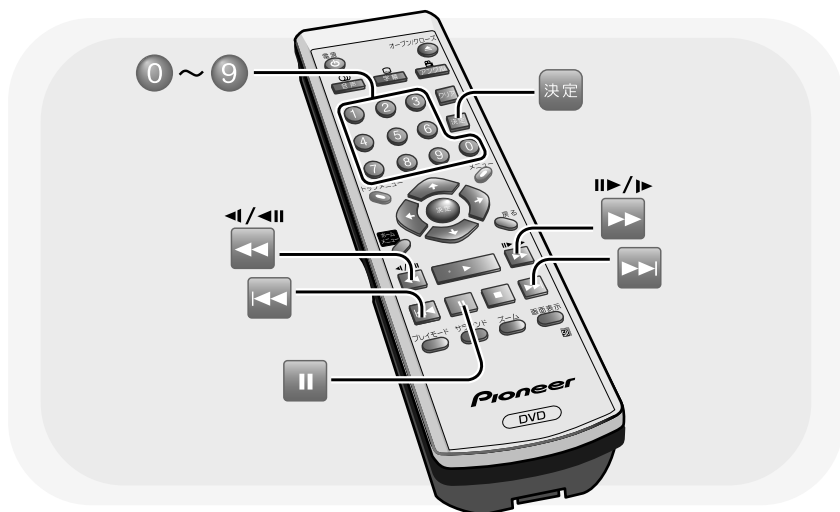
- → DRM コピープロテクト＊のかかったWMA ファイルを再生している。
- → 記録したディスクがISO9660 フォーマットに準拠していない。
- → サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないWMAファイルを再生している。
- → 可変ビットレート(VBR)またはロスレスエンコーディングのWMAファイルを再生している。
- → サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないMP3ファイルを再生している。

Q6: JPEG が再生できない。

- → 記録したディスクがISO9660 フォーマットに準拠していない。
- → 総ピクセル数が3072X2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルではない。
- → プログレッシブJPEG ファイルは再生できません。

Q7: 電源が自動的に切れてしまう

- → ディスクを再生していないときに約30分間、本体またはリモコンの操作を行わないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(**オートパワーオフ機能**)。

＊ DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する機能です。
詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

早送り/早戻し再生

1 再生中にリモコンの ►► (または ◄◄) ボタンを押す

- ボタンを押すごとに速さを４段階まで切り換えることができます。
- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。

コマ送り / コマ戻し再生

◄I/◄II II►/I►

1 再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II►/I► (または ◄I/◄II) ボタンを押す

- コマ送り / コマ戻し再生は音声が出力されません。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- コマ戻し再生中、映像が揺れることがあります。
- コマ送り / コマ戻し再生ができないディスクがあります。
- ビデオCDは、コマ戻し再生ができません。
- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。

スロー再生

◀I/◀II　II▶/I▶

1 再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶(または ◀I/◀II)ボタンを押し続ける

- 画面にスローの表示がでたら、手を離してもスロー再生を続けます。
- スロー再生中、ボタンを押すごとに速さを４段階まで切り換えることができます。
- スロー再生は音声が出力されません。
- スロー再生ができないディスクがあります。
- ビデオCDは、逆方向のスロー再生ができません。
- 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。

再生する

頭出し (スキップ)

1 再生中に ▶▶I(または I◀◀)ボタンを押す

- 押した数だけチャプター/トラックをスキップします。
- ビデオCDのPBC再生中(**P.25**)は、ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

ダイレクトサーチ

1 数字ボタンでタイトル / チャプター / グループ / トラック番号を入力して、決定ボタンを押す

再生中にできるダイレクトサーチの種類

DVDビデオ	DVD-RW(VR)	DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R/RW)
チャプターサーチ	タイトルサーチ	トラックサーチ

- **決定ボタン**を押さなくても、２秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- DVDビデオのチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。
- ダイレクトサーチができないディスクがあります。
- ディスク停止中にダイレクトサーチを行うと、DVDビデオは**タイトルサーチ**に、DVDオーディオは**グループサーチ**になります。

いろいろな機能を使う

指定した部分を繰り返し再生する (A-B リピート)

1 **再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[A-B リピート]を選択する**

2 **[A(開始箇所)]を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押す**

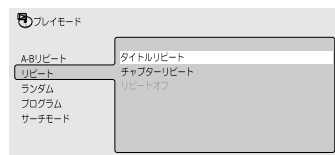
3 **[B(終了箇所)]を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押す**

A-B リピート再生を開始します。

➡ **解除するときは、[オフ]を選択する**

☑ メモ

- 異なるタイトルをまたいで A-B リピート再生をすることはできません。
- A-B リピート再生ができないディスクがあります。

繰り返し再生する (リピート)

1 **再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[リピート]を選択する**

2 **リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押す**

リピート再生を開始します。

- **タイトルリピート**
- **チャプターリピート**
- **グループリピート**
- **ディスクリピート**
- **トラックリピート**
- **プログラムリピート**

＊ リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

➡ **解除するときは、[リピートオフ]を選択する**

☑ メモ

- ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
- リピート再生ができないディスクがあります。

順不同に再生する (ランダム)

1 **再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[ランダム]を選択する**

2 **ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押す**

次のタイトルなどからランダム再生を開始します。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
  再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムグループ**
- **ランダムトラック**
  再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオール (ランダムオン)**
  ディスク内のトラックを順不同に再生します。

＊ ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

➡ **解除するときは、[ランダムオフ]を選択する**

☑ メモ

- ディスクを停止するか、**ランダムオフ**を選択するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生ができないディスクがあります。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に**▶▶I ボタン**を押すと、順不同に次のタイトル等を選択して再生します。また、**I◀◀ ボタン**を押すと、現在再生中のタイトル等の始めに戻り再生します。
- 現在再生中のタイトル等より前のタイトル等に戻ることはできません。
- 毎回ランダムに選択するため、同じタイトル等を何度も再生する場合があります。

■ プレイモード画面について

- **ホームメニューボタン**を押して、ホームメニュー画面から**[プレイモード]**を選択して表示することもできます。
- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。

好みの順に再生する(プログラム)

＊ ディスクによってプログラム入力、編集画面が異なります。

1 再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[プログラム]を選択する

2 [プログラム入力・編集]を選択して、決定ボタンを押す

3 プログラムしたいタイトル / チャプター / グループ / トラックを選択して、決定ボタンを押す

プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4 3 を繰り返して、他のタイトルなどを入力する

➡ ステップの間にプログラムを追加する

① プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせる。

② 追加するタイトル等を選択して**決定ボタン**を押す。

- 追加した箇所にあったタイトル等は、新しいプログラムの後ろに移動します。

➡ 入力中にプログラムを削除する

① 削除したいプログラムステップにカーソルを合わせる。

② **クリアボタン**を押す。

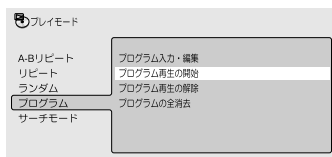
- プログラムが削除され、その後ろにあったタイトル等が 1 つ前に繰り上がります。

5 ▶ ボタンを押す

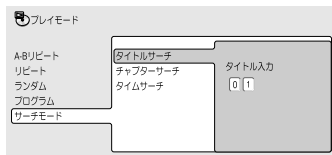
プログラムした順に再生を開始します。

☑ メモ

- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。
- 一時停止をプログラムすることはできません。
- タイトル等が変わるときに、プログラムしていないタイトル等の映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します(**P.18**)。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。
- プログラム再生中に**▶▶|ボタン**を押すと、次のプログラムステップのタイトル等を再生します。

■ プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去する

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します。

見たい場面を探す (サーチモード)

CD (R-RW)

1 **再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[サーチモード]を選択する**

2 **サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押す**

- **タイトルサーチ**
- **チャプターサーチ**
- **グループサーチ**
- **トラックサーチ**
- **タイムサーチ** (ビデオCDでは、再生中のトラック内の時間を指定して再生します。)

＊ サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

3 **数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル / チャプター / グループ / トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押す**

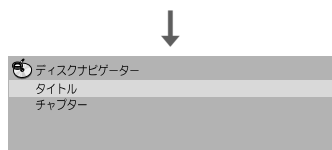
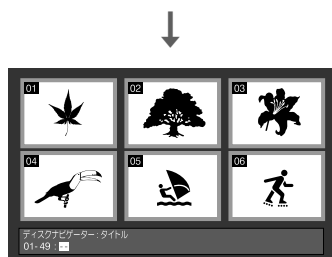
指定したタイトル等から再生を開始します。

➡ タイムサーチを選択したとき

- 21分43秒を再生するには、**2, 1, 4, 3**を押して、**決定ボタン**を押します。
- 1時間4分(64分00秒)を再生するには、**6, 4, 0, 0**を押して、**決定ボタン**を押します。

☑ メモ

- DVDオーディオには、静止画が収録されているディスクがあります(**P.56**)。静止画の種類によって、静止画の番号(ページ)を指定してサーチすることができます。
- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。
- DVDビデオでは、ディスクメニューで見たい場面を探す(サーチする)ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**メニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください(**P.12**)。
- DVDオーディオ SACD では、タイムサーチができません。

ディスクナビゲーターを使って再生する

＊ ディスクによって表示内容が異なります。

1 **再生中にホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる**

2 **[ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押す**

3 **⬆ ⬇ ボタンで種類を選択する**

DVDビデオ	DVD-RW(VR)	ビデオCD
タイトル チャプター	オリジナル: タイトル オリジナル: 時間 プレイリスト: タイトル プレイリスト: 時間	トラック 時間

- **[時間]**を選択すると、10分おきの画像を表示します。

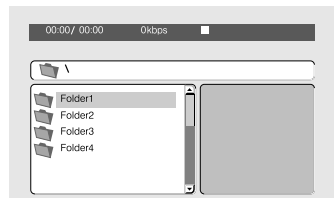
4 **先頭の画面が6枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探す**

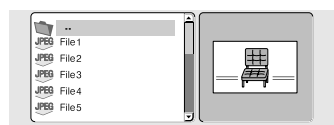
- **▶▶I ボタン**を押すと、次の6枚に切り換わります(**I◀◀ ボタン**で戻ります)。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。
- **戻るボタン**を押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5 **数字ボタンで番号を入力して決定ボタンを押す**

- 番号にカーソルを合わせて**決定ボタン**を押しても再生することができます。

☑ メモ

- ビデオCDのPBC再生中はディスクナビゲーター画面を表示することができません。PBC再生を解除してください(**P.25**)。
- DVD レコーダーで録画して作られたタイトルを**[オリジナル]**、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを**[プレイリスト]**といいます。
- プレイリストが作成されていないときは、**[プレイリスト]**は選択できません。
- 一部のDVDビデオでは、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

＊ WMA/MP3の場合

＊ JPEGの場合

1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆ ⬇ ボタンでフォルダーを選択して、決定ボタンを押す

- 半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/トラック/ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

4 ⬆ ⬇ ボタンで再生したいトラック / ファイルを選択する

- JPEGでファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
- **⬅ ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

5 決定ボタンを押す

- 選択したトラック / ファイルから再生を開始します。
- JPEGでは、画像が次々に表示されます(スライドショー)。
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。

☑ メモ

- WMA/MP3 JPEGでは、ディスク情報の読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- ‥ を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。
- ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。

アングルを切り換える DVDビデオ

複数のアングルが収録されているDVDビデオでは、再生中にアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。詳しくは **P.53, 56** をご覧ください。

アングル

1 アングルボタンを押す

- 現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

☑ メモ

- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします(**P.39**)。
- マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ディスクメニューでアングルを切り換えることができるディスクもあります(**P.14**)。

画像を回転 / 反転する JPEG

1 ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押す

➡ − 押すたびに画像が時計回りに 90° 回転します。
⬅ − 押すたびに画像が反時計回りに 90° 回転します。
⬆ − 画像の上下が反転します。
⬇ − 画像の左右が反転します。

☑ メモ

- 通常のスライドショーに戻すには ▶ **ボタン**を押します。

画像を拡大する

ズーム

1 ズームボタンを押す

- ズームエリア(拡大する場所)が表示されます(JPEG を除く)。⬆ ⬇ ⬅ ➡ **ボタン**でズームエリアを移動することができます。
- 押すたびに、2 倍 →4 倍 → 通常と変化します。

☑ メモ

- JPEG では、▶ **ボタン**を押してスライドショーに戻すこともできます。

ディスクの情報を見る

画面表示

1 再生中に画面表示ボタンを押す

- ディスクの経過時間や残量などを表示します。

例）

- ディスクによっては、**画面表示ボタン**を押すごとに表示内容が切り換わります。
- **画面表示ボタン**を数回押すと、表示がオフになります。

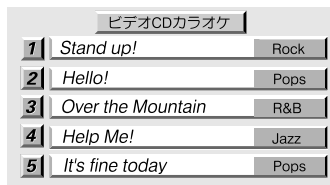
☑ **メモ**

- ビデオCDのPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください（**下記参照**）。

メニュー画面から再生する（PBC再生）

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

ビデオCDカラオケ

1	*Stand up!*	Rock
2	*Hello!*	Pops
3	*Over the Mountain*	R&B
4	*Help Me!*	Jazz
5	*It's fine today*	Pops

＊ ディスクによって表示内容が異なります。

1 PBC再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 数字(0〜9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押す

再生を開始します。

- 再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

➡ メニュー画面のページをめくる、または戻すには

- メニュー画面を表示中に►►I、またはI◄◄**ボタン**を押す。

➡ メニュー画面を出さずに再生するには（PBC再生を解除して再生する）

下記のいずれかの方法で再生してください。

- **停止中**に、**数字(0〜9)ボタン**で再生するトラックを選択して、**決定ボタン**を押す。
- **停止中**に、►►I または I◄◄ **ボタン**を押す。

音声を切り換える

音声

1 再生中に音声ボタンを押す

- 押すたびに音声が切り換わります。

例）

＊ 3/2.1CHはディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは**P.57**をご覧ください。

- 2カ国語で記録されたDVD-RW(VR)では、主、副、主/副音声が切り換わります。
- ビデオCD CD(R/RW)では、ステレオ、左、右が切り換わります。
- DVDオーディオの再生中に**音声ボタン**で音声を切り換えると、そのトラックの始めから再生を行います。

☑ メモ

- DVDビデオによっては**音声ボタン**で音声を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください(**P.14**)。
- ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能(**P.14**)を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定(**P.38**)に戻ります。

字幕を切り換える DVD ビデオ

1 再生中に字幕ボタンを押す

- 押すたびに字幕言語が切り換わります。

例）

＊ 字幕が収録されていないときは[-/-]が表示されます。

☑ メモ

- DVDビデオによっては**字幕ボタン**で字幕言語を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください(**P.14**)。
- ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能(**P.14**)を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定(**P.38**)に戻ります。

音場を設定する

1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [音場設定]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

4 ホームメニューボタンを押して､設定画面を終了させる

- 新しく設定した内容が保存されます。

バーチャルサラウンド

2つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現することができます。

- **オン、オフ** (出荷時の設定)

オーディオ DRC

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、深夜に映画を見るようなときに変更します。オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。

- **大、中、小、オフ** (出荷時の設定)

ダイアローグ

映画などを DVD で見るとき、記録されたフォーマットによっては台詞の音が小さくて聴き取りづらい場合があります。このようなときに変更します。

- **大、中、小、オフ** (出荷時の設定)

☑ メモ

- すべての効果を同時に設定することができます。
- **[バーチャルサラウンド]**を設定時は、96kHz以上のリニアPCM音声は48kHzに変換されて出力されます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[ダイアローグ]**はデジタル音声出力にも効果があります。ただし、デジタル音声出力がドルビーデジタル、DTS、またはMPEG音声で出力されているときは効果がありません(デジタル音声出力の設定については**P.34-35**をご覧ください)。
- **[バーチャルサラウンド]**は、リモコンの**サラウンドボタン**を押して、**[オン]**または**[オフ]**を選択することもできます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[オーディオ DRC]**の効果が少ないディスクもあります。
- **[バーチャルサラウンド]**はDVDオーディオ SACDには効果がありません。
- **[オーディオDRC]**はデジタル音声出力端子(光/同軸)から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]**の**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定して、さらに**[ᴅᴅDigital出力]**を**[ᴅᴅDigital > PCM]**に設定してください(**P.34**)。
- **[オーディオDRC]**の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、またはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。

画質を調整する

画質を調整してより見やすくする

項目によって設定画面が異なります。

例 1

例 2

ブライトネス min max 0

＊ **戻るボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

1 **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる**

2 **[画質調整]を選択して、決定ボタンを押す**

3 **⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する**

4 **ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる**

- 新しく設定した内容が保存されます。

シャープネス

画像の鮮明度を調整します。

- **ファイン**、**標準** (出荷時の設定)、**ソフト**

ブライトネス

画面の明るさを調整します。

- **－20～＋20** (出荷時の設定：**0**)

コントラスト

最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。

- **－16～＋16** (出荷時の設定：**0**)

ガンマ

画像の暗い部分の見えかたを強調します。

- **大**、**中**、**小**、**オフ** (出荷時の設定)

色あい

緑色と赤色のバランスを調整します。

- **緑 9～赤 9** (出荷時の設定：**0**)

色の濃さ

色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

- **－9～＋9** (出荷時の設定：**0**)

BNR

映像のブロックノイズを軽減します。

- **オン**、**オフ** (出荷時の設定)

☑ メモ

- ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

他機器との接続

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

5.1 チャンネルサラウンドシステムの接続

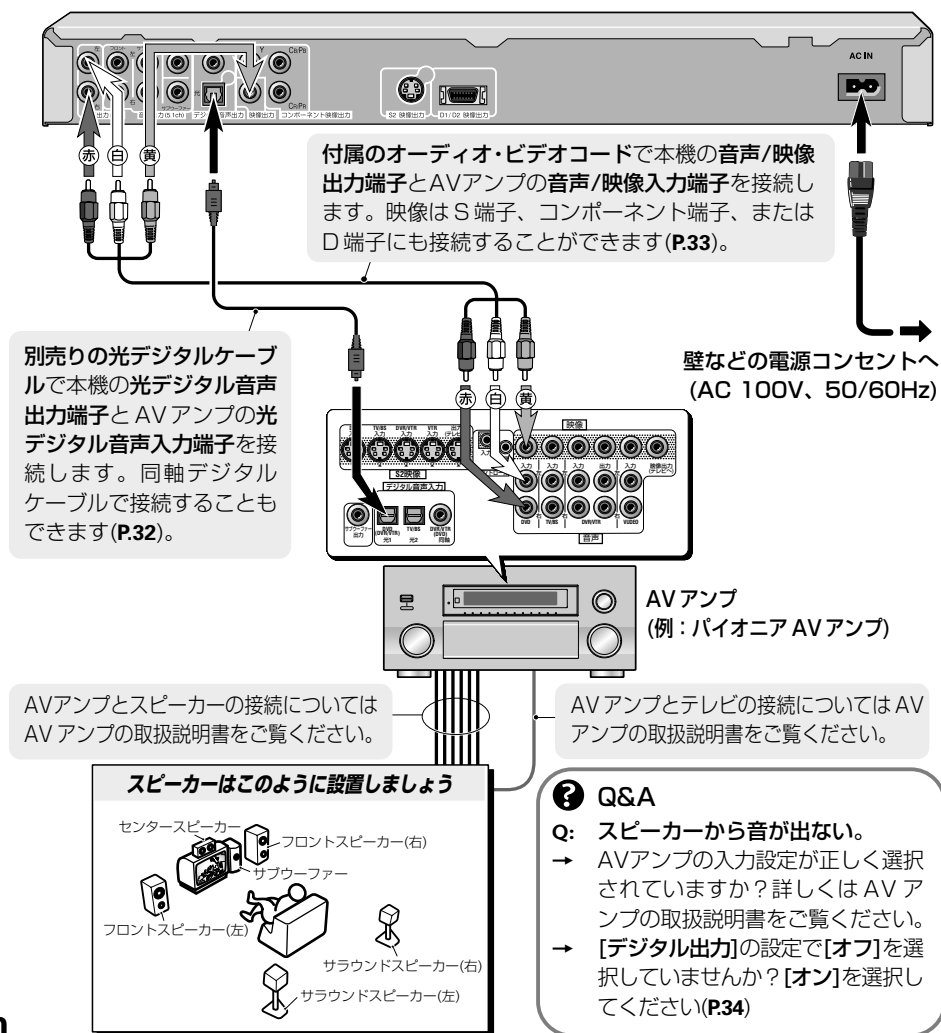
▼ 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむために必要な機器は？
- ドルビーデジタル /DTS などのデジタル入力に対応した AV アンプ、またはデコーダー
- 5ch スピーカー(フロント左右 / センター / サラウンド左右)＋サブウーファー
- 光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブル
- DTS5.1ch サラウンドを楽しむときは、**[DTS 出力]**の設定で**[DTS]**を選択してください(**P.35**)。

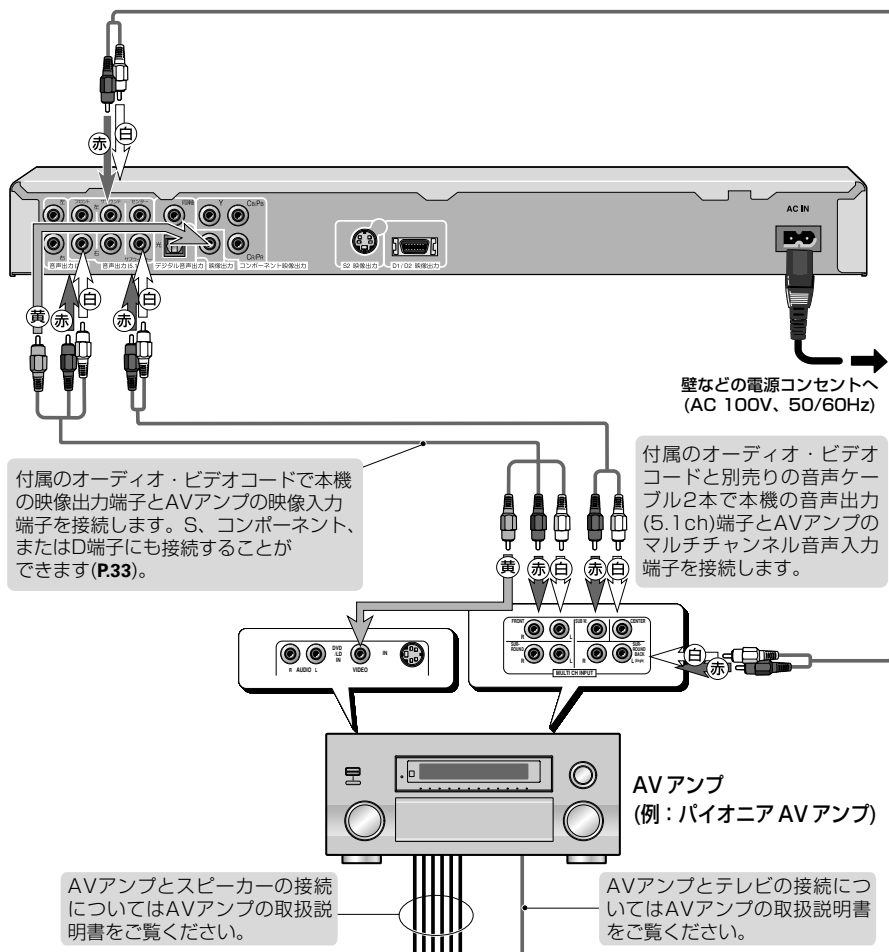
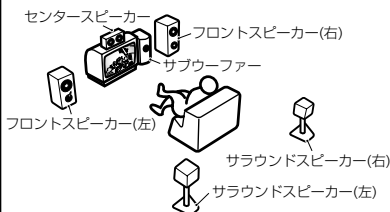
■ DVD ビデオの 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむための接続

❓ Q&A

Q: スピーカーから音が出ない。

→ AVアンプの入力設定が正しく選択されていますか？詳しくは AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

→ **[デジタル出力]**の設定で**[オフ]**を選択していませんか？**[オン]**を選択してください(**P.34**)

■ DVDオーディオやSACDの5.1chサラウンドサウンドを楽しむための接続 (5.1chアナログ音声出力端子に接続して5.1chサラウンドを楽しむ)

5.1chアナログ音声出力端子を接続するときは、付属の音声ケーブル(1本)と別売りの音声ケーブル(2本)が必要です。また、**[音声出力モード]**(**P.41**)の設定で**[5.1チャンネル]**を選択してください。

音声ケーブルのつなぎかた

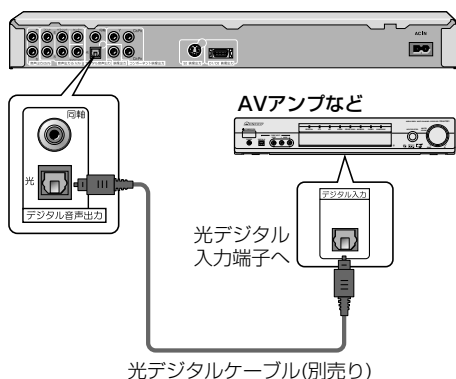
■ デジタル音声入力端子のある機器との接続

デジタル音声入力端子のある AV アンプやデジタル録音対応機器(MD、CD-R(CD レコーダー)、DATなど)とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する2つの方法があります。

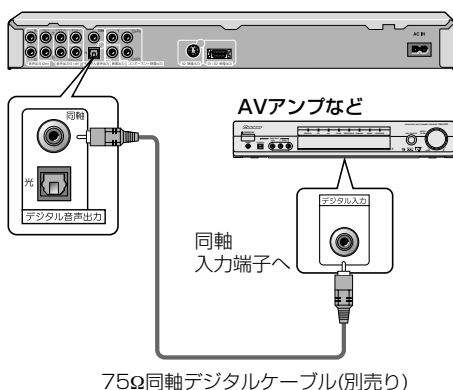
- 本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの光デジタルケーブルで接続します。

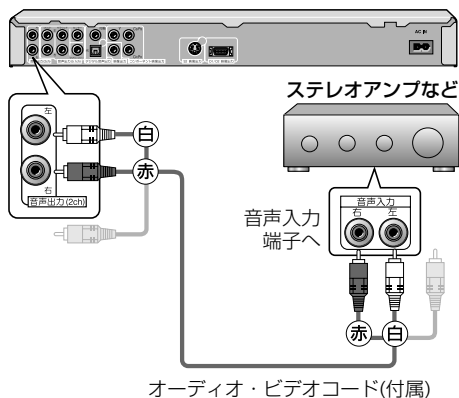
光デジタルケーブル(別売り)

同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。

75Ω同軸デジタルケーブル(別売り)

■ 2chアナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器との接続

2ch アナログ音声入力端子と接続する

付属のオーディオ・ビデオコードで接続します。

オーディオ・ビデオコード(付属)

モノラル音声入力端子のあるテレビと接続する

別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。

テレビ

左

右

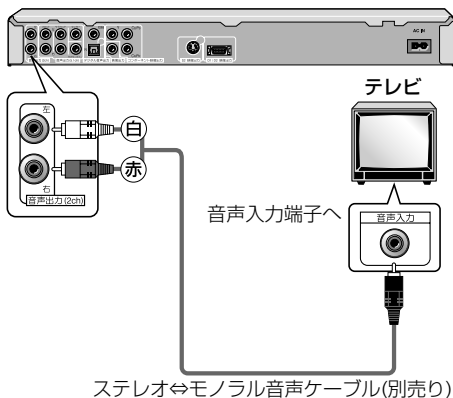
音声出力 (2ch)

白

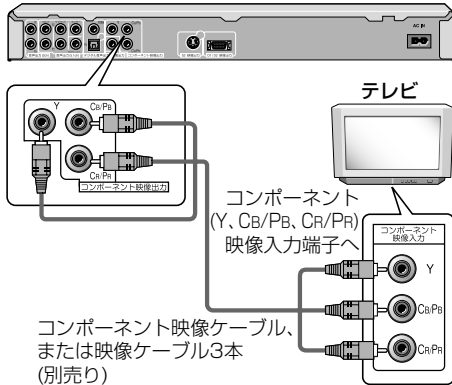
赤

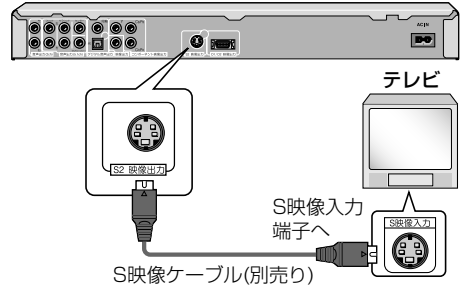
音声入力端子へ

音声入力

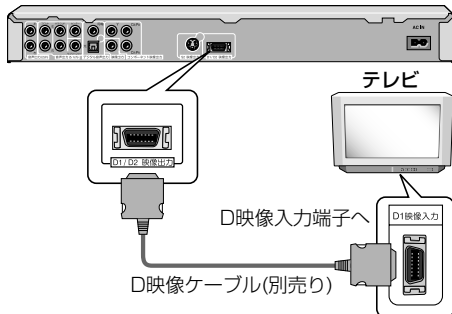
ステレオ⇔モノラル音声ケーブル(別売り)

映像ケーブルのつなぎかた

コンポーネント(Y, CB/PB, CR/PR) 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのコンポーネント映像ケーブルで接続します。本機の優れた映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。

S映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのＳ映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より、高い映像品質を楽しむことができます。本機はS2出力に対応しています。

D映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのＤ映像ケーブルで接続します。専用ケーブル１本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様の優れた映像品質を楽しむことができます。本機のD1/D2端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。

他機器との接続

設定をする

初期設定を変更する

1 **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる**

2 **[初期設定]を選択して、決定ボタンを押す**
ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3 **⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する**

デジタル音声出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
デジタル出力 光デジタル音声出力からの出力を設定します。	●**オン**：音声を出力するとき。 ○**オフ**：音声を出力しないとき。 • SACD はデジタル出力しません。DVDオーディオはマルチチャンネル音声をダウンミックスしてデジタル出力されます。この場合、デジタル出力できないディスクもあります。
□□Digital 出力 デジタル出力している AV アンプがドルビーデジタル音声に対応していないときに、[□□Digital ＞ PCM]を選択します。	●**□□Digital**：ドルビーデジタル音声のまま出力したいとき。 ○**□□Digital＞PCM**：ドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
DTS 出力 デジタル出力している AV アンプが DTS 音声に対応していないときに、[DTS > PCM]を選択します。	● **DTS：**DTS 信号を出力したいとき。 ○ **DTS > PCM：**DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。DTS に対応していないアンプと接続するときに選択します。 • DTS に対応していないアンプに接続しているときに[DTS]を選択すると、ノイズが発生することがあります。 • [DTS>PCM]に設定する場合、DTS マルチチャンネルのダウンミックス方法を選択することができます。
リニア PCM 出力 96kHz対応アンプまたはデコーダーと接続したときに、**[ダウンサンプル オフ]**を選択します。	●**ダウンサンプル オン：**96kHzに対応していないアンプと接続したとき。各系統の音声周波数を48/44.1kHz にダウンサンプリングして出力します。 ○**ダウンサンプル オフ：**96kHz対応アンプまたはデコーダーと接続したとき。 • DVDオーディオの 192/176.4kHz サンプリング音声のとき、**[ダウンサンプル オフ]**を選択していてもデジタル出力は強制的に96/88.2kHzにダウンサンプルされます。また、著作権保護されている場合は、自動的に48/44.1kHzに変換されます(96/88.2kHzリニアPCM音声を含む)。このようなDVDは高音質のアナログ音声出力でお楽しみください。
MPEG 出力 デジタル出力している AV アンプが MPEG 音声に対応しているときに、[MPEG]を選択します。	○ **MPEG：**MPEG 音声を出力したいとき。 ●**MPEG > PCM：**MPEG音声信号をリニアPCM信号に変換して出力したいとき。

映像出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。	●**4:3(レターボックス)**：従来サイズのテレビと接続して、16:9 の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現する方式)で見たいとき。 ○**4:3(パンスキャン)**：従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして4:3の画面全体に映し出す方式)で見たいとき。 ○**16:9(ワイド)**：ワイドテレビと接続したとき。

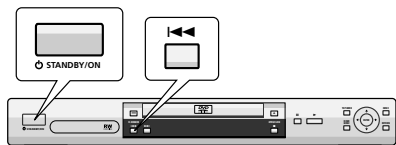
お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像		

＊画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

設定項目	設定内容
コンポーネント出力 コンポーネント映像出力端子、またはD1/D2映像出力端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブに設定します。	○**プログレッシブ**：プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのとき。 ●**インターレース**：プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのとき。 ➡[**プログレッシブ**]を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。 • [**プログレッシブ**]と[**インターレース**]を切り換えるとき、映像が乱れることがあります。

☑ 注意

- プログレッシブ入力に対応していないテレビとコンポーネント映像/D映像接続(**P.33**)しているときは、[**プログレッシブ**]を選択しないでください。正常な映像が出力されません。

＊ **誤って[プログレッシブ]を選択してしまったときは、下記の方法で[インターレース]に切り換えてください。**

1 本機を待機（スタンバイ）状態にする

電源が入っているときは、本体の⏻**STANDBY/ONボタン**(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押します。

2 ⏮ ボタンを押しながら ⏻STANDBY/ON ボタンを押す

[**インターレース**]に切り換わり、映像が出力されます。

- **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**

  現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください(裏表紙)。

＊ **本機と互換性が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ(プラズマディスプレイ)**

PDP-434BX、PDP-434TX、PDP-434HD、PDP-503HD、PDP-504HD、PDP-433HD-U、PDP-433HD-S、PDP-434HD-W、PDP-504HD-W、PDP-434HDV、PDP-504HDV、PDP-503PRO、PDP-A503HD、PDP-A433HD-U、PDP-A433HD-S、PDL-30HD

言語

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英　語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：**➡**P.44** • ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。 • ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英　語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：**➡**P.44** • ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。 • ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	●**字幕言語に連動：[字幕言語]**で選択されている言語でメニュー画面を表示するとき。 ○**日本語：**日本語でメニュー画面を表示するとき。 ○**英　語：**英語でメニュー画面を表示するとき。 ○**その他の言語：**➡**P.44**
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	●**オン：**字幕を表示するとき。 ○**オフ：**字幕を表示しないとき。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

表示

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	●**日本語**：操作表示言語を日本語にするとき。 ○ **English**：操作表示言語を英語にするとき。
アングルマーク表示 アングルマーク(🎥)を表示する / しないを設定します。	●**オン**：テレビ画面に 🎥 マークを表示するとき。 ○**オフ**：テレビ画面に 🎥 マークを表示しないとき。

オプション

設定項目	設定内容
視聴制限 暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	◆**暗証番号** ◆**レベル変更** ◆**国コード** ➡ **暗証番号を登録するには** ① **[暗証番号]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0〜9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ● 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。 ● 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して(**P.58**)、再度設定してください。 ● ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。 ● 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。 ➡ **暗証番号を変更するには** ① **[暗証番号変更]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0〜9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ③ **数字(0〜9)ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押す**

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
視聴制限	➡ **レベルを変更するには** ① **[レベル変更]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ③ **⬅➡ ボタンでレベルを変更して、決定ボタンを押す** ➡ **国コードを変更するには** 国コード表(**P.45**)を見ながら操作してください。 ① **[国コード]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ③ **⬆⬇ ボタンで選び、決定ボタンを押す** • 国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。
DVD 再生方式 DVDビデオとDVDオーディオが 1 枚に収録されているディスクを再生するとき、どちらを再生するかを設定します。	● **DVD オーディオ：** DVDオーディオ (オーディオゾーン) を再生するとき。 ○ **DVD ビデオ：** DVDビデオ (ビデオゾーン) を再生するとき。 • [**DVD ビデオ**] を選択していても、本体の **⏏OPEN/CLOSE ボタン**を押したり、電源を切ると、**[DVD オーディオ]**に戻ります。
SACD 再生 SACDは、2 チャンネルと 5.1 チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の2層構造になっています。ここではSACDの再生するエリアを切り換えます。	● **2ch エリア：** 2ch エリアを再生するとき。 ○ **マルチchエリア：** マルチchエリアを再生するとき。 ○ **CD エリア：** CD 層を再生するとき。
DTS ダウンミックス DTS ダウンミックスの設定をします。	● **STEREO：** DTS のダウンミックス方法をステレオダウンミックスに設定するとき。通常のステレオ音声でお楽しみいただけます。 ○ **Lt/Rt：** DTSのダウンミックス方法をサラウンドダウンミックスに設定するとき。ドルビーサラウンドマトリックスと互換性のある音声です。サラウンド対応のアンプなどに接続する事でサラウンド音声をお楽しみいただけます。

スピーカー

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
音声出力モード 音声出力方法を選択します。	**●2チャンネル：**テレビなどのステレオ音声入力端子と本機の音声出力(2ch)端子を接続したとき。 ○**5.1 チャンネル：**AVアンプの5.1チャンネルアナログ音声入力端子などと本機の音声出力(5.1ch)端子を接続したとき。 • **[2 チャンネル]**を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTS、またはMPEGのマルチチャンネル音声は2チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。 • DVDオーディオでは、**[5.1チャンネル]**を選択しているとデジタル音声が出力されません。 • DVDオーディオにはダウンミックスを禁止しているディスクがあります。そのときは、**[2チャンネル]**を選択していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。 • **[2 チャンネル]**を選択しているときは、DTSマルチチャンネルのダウンミックス方法が選択できます。

Q&A

Q1: デジタル音声が出力できない。

→ **[デジタル出力]**の設定で**[オン]**を選択してください(**P.34**)。DVDオーディオにはデジタル音声出力できないディスクがあります。また、SACDではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または2ch)の接続をしてください。

Q2: マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。

→ DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、またはDTS音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。

Q3: 192/176.4kHz 音声がデジタル出力できない。

→ DVDオーディオの192/176.4kHz音声はデジタル出力できません。96/88.2kHz、または48/44.1kHzに変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。

■ 音声出力について

音声の種類		出力モード	音声出力(5.1CH)				デジタル出力	
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー	リニアPCM変換する	リニアPCM変換しない
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
	リニアPCM(DVDビデオ)	5.1CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
	DVDオーディオ	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
		2CH	2CHダウンミックス *1	×	×	×	2CHダウンミックス *1	2CHダウンミックス *1
	MPEG	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	左/右	MPEG
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	MPEG
	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS
	DVD-RW(VR)	5.1/2CH	左/右 *3	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル MPEG リニアPCM
SACD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	×	×
CD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
DTS CD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS

*1 DVDオーディオでは、ダウンミックスを禁止しているディスクがあります。このときは、**[音声出力モード]**(**P.41**)を**[2チャンネル]**に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

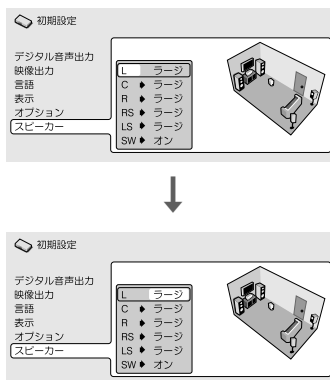
*2 超低域成分

*3 出力モードが5.1chのときは、モノラル素材はセンター出力のみとなります。

- 表の　　の部分は音声が出力されません。
- ディスクに一部のチャンネルが記録されていないときは、そのチャンネルから音声は出力されません。

設定項目	設定内容

スピーカー設置

各スピーカーのサイズを設定します。

➡ **スピーカーのサイズを設定するには**

① **[スピーカー設置]を選んで決定ボタンを押す**

② **⬆⬇ボタンでスピーカーを選び、➡ボタンでカーソルを右に移動する**

③ **⬆⬇ボタンで大きさ、または接続の有無を選択する**

●**ラージ**：大きいスピーカーに接続しているとき(目安としてコーンサイズ12cm以上)。
○**スモール**：小さいスピーカーに接続しているとき(目安としてコーンサイズ12cm未満)。
○**オフ**：接続していないとき。
○**オン**：サブウーファー(SW)を接続しているとき(SWでは[**オン**]/[**オフ**]を設定します)。

④ **手順②～③を繰り返して、各スピーカーの設定をする**

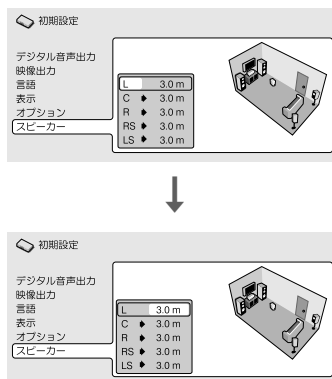
⑤ **決定ボタンを押す**
[**スピーカー設置**]の画面が消えます。

- SW(サブウーファー)を[**オン**]に設定しているときは、LFE(超低音の効果音)がサブウーファーから出力します。
- L(フロント左)/R(フロント右)スピーカーを[**スモール**]に設定すると、RS(サラウンド右)/LS(サラウンド左)とC(センター)スピーカーの大きさは自動的に[**スモール**]に設定されます。また、SW(サブウーファー)は[**オン**]に設定されます。

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容

スピーカー距離補正

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。

➡ スピーカーまでの距離を設定するには

① **[スピーカー距離補正]を選んで決定ボタンを押す**

② **⬆⬇ ボタンでスピーカーを選び、➡ ボタンでカーソルを右に移動する**

③ **⬆⬇ ボタンで距離を設定する**

設定できる範囲は以下のとおりです。
L：0.3m～9m
R：0.3m～9m
C：L/Rの距離から－2.1m～0m
LS：L/Rの距離から－6.0m～0m
RS：L/Rの距離から－6.0m～0m

④ **手順②～③を繰り返して、各スピーカーの距離を設定する**

⑤ **決定ボタンを押す**
[スピーカー距離補正]の画面が消えます。

- 5.1チャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。
- SW(サブウーファー)の距離を調整することはできません。
- DVDビデオのMPEG音声、または SACD の再生中は、[C]、[LS]、[RS]の距離補正の上限が－0.9 mになります。

■ 言語の設定で[その他の言語]を選んだとき

言語コード表(**P.45**)にある136言語の中から選ぶことができます。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1 **[その他の言語]を選択して、決定ボタンを押す**

2 **⬅ ➡ ボタンを使って[言語表]または[コード]を選択する**

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.45**)をご覧ください。

3 **⬆ ⬇ ボタンまたは数字ボタンを使って言語コードを入力し、決定ボタンを押す**

言語 / 国コード表

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻**STANDBY/ONボタン**、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押して、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
DTS音声が出力されない。	● 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは**[DTS出力]**を**[DTS＞PCM]**に設定してください。ノイズが発生することがあります。	**35**
	● DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときはアンプの設定を確認してください。また、デジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**32**
音が歪んでしまう。 スピーカーから音が出ない。	● 音声ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？ ● 接続している音声ケーブルが断線していませんか？ ● 音声ケーブルのプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビやAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。	**8, 30-32**
	● デジタル接続しているときは**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定してください。	**34**
	● **[デジタル音声出力]**の設定により、音が出ないことがあります。	**34-35**
	● ディスクが汚れていませんか？	
	● 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	**13, 16, 17**
	● 接続したテレビやAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？AVアンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。 ● アンプのPHONO端子には接続しないでください。	

映像が映らない。	● プログレッシブ入力に対応していないテレビとコンポーネント映像/D映像接続(**P.33**)しているとき、**[プログレッシブ]**を選択していると映像が正常に出力されません。 ● 映像ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか? ● 接続している映像ケーブルが断線していませんか？ ● AVアンプなどに映像出力端子を接続したときは、AVアンプの入力を接続している機器に設定してください(たとえばDVDなど)。	**37** **8, 30-31, 33**
画面が縦または横に伸びている。	● 接続したテレビに合わせて**[テレビ画面]**の設定をしてください。 ● S2映像出力に対応していないテレビにS映像ケーブルで接続すると、正常な映像が表示されない場合があります。その場合は、S映像ケーブル以外で接続してください。	**36**
DVDとCDで音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD再生中に映像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、テレビによっては映像の一部に横しまが入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	**8**
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
DVDオーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	● **[音声出力モード]**の設定で**[5.1チャンネル]**を選択してください。 ● **[スピーカー設置]**の設定を行ってください。 ● ディスクのメニュー、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	**41** **43**

デジタル音声が出力できない。	● **[デジタル出力]**の設定で**[オン]**を選択してください。 ● DVDオーディオにはデジタル音声を出力できないディスクがあります。 ● SACD ではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または 2ch)の接続をしてください。	**34**
マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、または DTS 音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。	**42**
192/176.4kHz 音声がデジタル出力できない。	DVD オーディオの 192/176.4kHz 音声はデジタル出力できません。96/88.2kHz、または 48/44.1kHz に変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。	**35**
96/88.2kHz 音声でデジタル出力できない。	● **[リニアPCM出力]**の設定で**[ダウンサンプル オン]**が選択されていないか確認してください。 ● 著作権保護がされているディスクでは96/88.2kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	**35**
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	本体の⏻**STANDBY/ONボタン**を約10秒間押すと、強制的に電源が切れます。再度電源を入れて、ご使用ください。	
勝手に電源が切れる。	ディスクを再生していないときに約 30 分間、本体またはリモコンの操作をしないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(オートパワーオフ機能)。再度電源を入れてください。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

再生できるディスクについて

DVD-R ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R ディスクを再生することができます。
- MP3/WMA/JPEGが記録されたDVD-Rを再生することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-R ディスクを再生することはできません。

DVD-RW ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはVRモードで記録されたDVD-RW ディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RW ディスクに録画することはできません。
- MP3/WMA/JPEGが記録されたDVD-RWを再生することはできません。
- ファイナライズしていないＤＶＤ ビデオフォーマットのDVD-RW ディスクを再生することはできません。
- DVDレコーダーで編集(シーン消去など)をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、および VR モードでの記録については **P.56, 57** も合わせてご覧ください。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、WMA やMP3 の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクよっては、「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

WMA の再生について

- 外装箱に印刷された、Windows Media® のロゴは、本機がWMA データの再生に対応していることを示しています。
  WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

Windows Media、Windows のロゴは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Series を使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 のCD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または48kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.56**)には対応していません。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、フォルダーとトラックの数は合計で648 (うちフォルダー数は最大299) まで認識・再生することができます。ただし、フォ

ルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックを認識・再生できない場合があります。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.56**)には対応していません。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、フォルダーとトラックの数は合計で648 (うちフォルダー数は最大299) まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックを認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbps以上を推奨します。

JPEG の再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJEPGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が3072X2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.2 *(**P.56**)に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、フォルダーとトラックの数は合計で648 (うちフォルダー数は最大299) まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、ファイルを認識・再生できない場合があります。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは、画像の再生に時間がかかることがあります。

* *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

☑ 注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

タイトルとチャプターについて

- DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
- DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が１つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

トラックについて

- CD やビデオ CD では、ディスクをトラックという単位で分けています(一般的には、1曲が１つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

DVD オーディオのグループとトラックについて

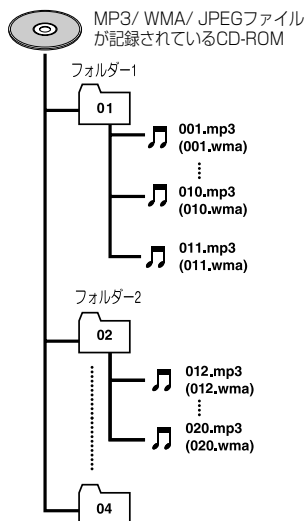
- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には１曲が１つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。ＤＶＤ ビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオ CD/SACD/CD のトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には１曲が１つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

WMA/MP3/JPEG について

- WMA/MP3 のフォルダー / トラックの名前や、JPEG のフォルダー / ファイルの名前を表示することができます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー / トラック / ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

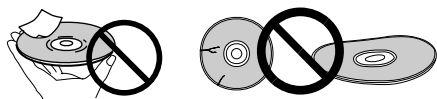
その他

ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびや反りのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

- 本機では、丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク(ハート型や六角形など)は故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

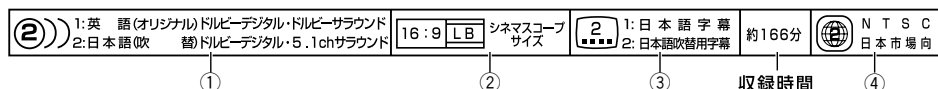
- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『**保証とアフターサービス**』(**P.59**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

DVD のディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています（音声の切り換えは **P.26, 38** をご覧ください）。
上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(**P.36**)。

③ ディスクに記録されている**字幕の数**と**言語**などの種類を示しています(字幕の切り換えは**P.26, 38**をご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機(日本向け)の再生可能地域番号は2番で、ディスクに記載された地域番号が２番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大９つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(**P.24**)。

☑ メモ

- DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の３つが現在主流となっています。

ドルビー デジタルとは. .* DOLBY DIGITAL

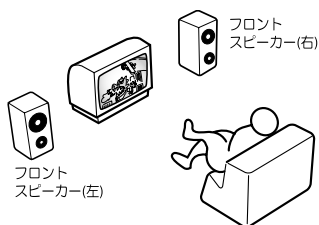
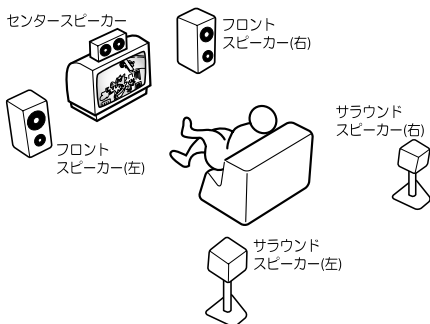
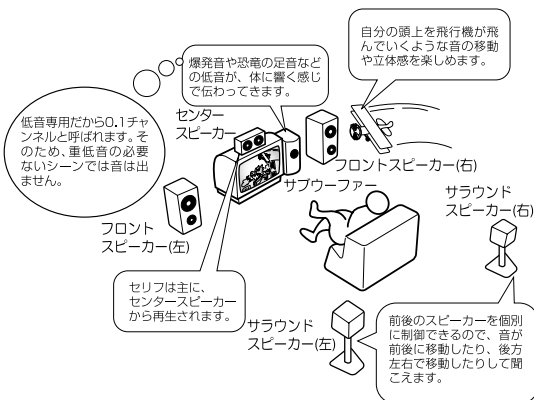
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている 5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトとは、５つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことをいいます。本機をドルビーデジタル対応のAVアンプなどとデジタル接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみいただくことができます。

*DTS**とは..*

DTSとはDigital Theater Systems, Inc.社の5.1chデジタル・サラウンド録音再生方式のことです。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機をDTS対応のAVアンプなどとデジタル接続すると、DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

- **ステレオ再生とは..**
  左右2つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2chで録音されています)は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。

- **ドルビーサラウンド再生とは..**
  ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音(モノラル)で再生されます。

- **ドルビーデジタル5.1chまたはDTSサラウンド再生とは..**
  ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

*** "DTS"および"DTS Digital Out"は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国 Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。*

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは 16：９の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の１画面を半分ずつ２回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525i など)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力
Y、CB/PB、CR/PR の３つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、より美しい映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含む DVD ビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。ＰＢＣ 付きビデオＣＤ に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の１画面を２回に分けずに１画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像を楽しめます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525p など)表記します。

ボーナスグループ
DVD オーディオでは、４桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。DVD ビデオには、同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を自由に選ぶことができます。DVD ビデオではアングルを最大９つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVD ビデオの中には、１枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVD ビデオでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R やCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、１枚のディスクに２つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.
DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo. は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D 端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、CB/PB、CR/PR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を１つのコネクタで接続する端子です。

DVD オーディオ / ビデオの静止画
DVD には、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVD オーディオの静止画には２種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。なお、DVD ビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVD ビデオフォーマット記録
、またはマークの付いている市販のDVD ビデオディスクと同じ方式(フォーマット)で DVD-R/DVD-RW ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間録画するモードがあります。

Exif
Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA 規格)。撮影日などの、撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

JPEG
JPEG とは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDビデオの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

SACD
CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

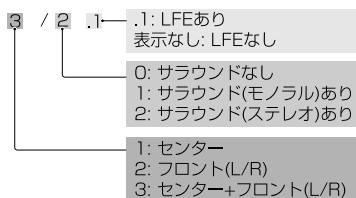
VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準的な画質で録画するモードと、画質および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

WMA
「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

3/2.1CH
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

例）5.1CHの場合
- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1チャンネル[1CH×0.1*2＝0.1CH]

*1 重低音強調効果の意
*2 音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面には下記のように表示されます。

使用上のご注意

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの、安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコン の⏻**電源ボタン**)を押し、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

初期化する

- 設定した内容をすべて出荷時の状態に戻すことができます(初期化)。初期化すると、記憶していたすべての設定が同時に消去されます。初期化する際は十分にご注意ください。

1 本機を待機 (スタンバイ) 状態にする

電源が入っているときは、⏻**STANDBY/ON ボタン**を押します。

2 ■ ボタンを押しながら、⏻STANDBY/ON ボタンを押す

設定した内容がすべて出荷時の状態に戻ります。

仕様

形式 .... DVD プレーヤー
電源 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 10W / 0.07W(待機時)
本体質量 .... 2.1 kg
外形寸法 ..... 420(幅)× 55(高さ)× 243(奥行) mm
許容動作温度 .... ＋5℃〜＋35℃
許容動作湿度 .. 5%〜 85%（結露のないこと）

S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S 端子

映像出力
出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

コンポーネント映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル ... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

D1/D2 映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル ... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... D 端子

音声出力 (2ch)
音声出力レベル ... 200 mVrms（1kHz、− 20dB）
出力端子 .... RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性 .... 4 Hz 〜 44 kHz(DVD、96 kHz)
.. 4 Hz 〜 88 kHz(DVD-Audio、192 kHz)
S/N 比 .... 115 dB
ダイナミックレンジ .... 101 dB
全高調波歪率 .... 0.0020 %
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
（± 0.001%W.PEAK）（JAITA）

音声出力 (マルチチャンネル : フロントL/R、サラウンド L/R、センター、サブウーファー)
音声出力レベル ... 200 mVrms（1kHz、− 20dB）
出力端子 .... RCA 端子

デジタル音声出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
同軸デジタル出力 .... RCA 端子

付属品
オーディオ・ビデオコード 1
電源コード 1
リモコン 1
単 3 形乾電池（R6P）.................................... 2
取扱説明書 1
保証書 1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、裏表紙の修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼されるとき
P.46-48に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所
「付近の目印もあわせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-578A
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機では、画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。Font Avenue は NEC の登録商標です。

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

アルファベット

数字

修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理についてはお買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口(裏表紙)へご相談くださるようお願いいたします。

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、裏表紙の修理受付センターでお受けします。
（沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします）

●サービスステーションの記載内容は、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
　また、認定店は、不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は、修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX	住所
☆札幌サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822　札幌市中央区北２条西 20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831　旭川市旭町１条１丁目 438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015　帯広市西５条南 28 丁目 1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811　函館市富岡町 2-18-7

●東北地区

受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX	住所
☆仙台サービスステーション	FAX　022-375-4996	〒981-3121　仙台市泉区上谷刈石田 20
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023　山形市松波 1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX　019-659-3165	〒020-0051　盛岡市下太田下川原 153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821　青森市勝田 2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802　八戸市小中野 4-3-34
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802　秋田市外旭川字梶の目 346-1
郡山サービスステーション	FAX　024-939-1372	〒963-8861　郡山市鶴見坦 1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第２ビル

●関東・甲信越地区（１）

受付　月～土　９：３０～１８：００　（日・祝・弊社休業日は除く）

名称	FAX	住所
世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032　世田谷区代沢 4-25-9
墨田サービスステーション	FAX　03-3621-7610	〒130-0011　墨田区石原 4-27-9　中島 IC ハイツ 1F
城北サービスステーション	FAX　03-3550-3625	〒175-0083　板橋区徳丸 4-11-14
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003　立川市栄町 4-18-1　エクセル立川１Ｆ

●関東・甲信越地区（２）

受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX	住所
新潟サービスステーション	FAX　025-241-1879	〒950-0913　新潟市鐙 1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209　佐渡郡金井町千種 1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0015　千葉市稲毛区作草部 1369-1　椎の実ハイツ 1F
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045　つくば市梅園 2-2-6
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844　水戸市住吉町 307-4
☆埼玉サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812　さいたま市北区宮原町 1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804　川越市下広谷 1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912　宇都宮市石井町 3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801　伊勢崎市宮子町 1191-17　パサージュ 808 伊勢崎 101号
☆神奈川サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037　横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX　045-943-3155	〒224-0036　横浜市都筑区勝田南 1-19-17
厚木サービス認定店	FAX　046-224-7724	〒243-0807　厚木市金田 339-1　金田コーポフロンテア 201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL　04994-6-1246	〒100-1211　三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX　0263-48-2768	〒390-0852　松本市大字島立 180-5
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935　長野市中御所 1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035　甲府市飯田 4-9-14

●中部地区

受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX	住所
☆名古屋サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063　名古屋市西区押切 2-8-18
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821　津市垂水 522-5
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931　岡崎市大和町字荒田 36-1　大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356　岐阜市六条江東 1-1-3
静岡サービスステーション	FAX　054-237-5691	〒422-8034　静岡市高松 1-6-5
沼津サービス認定店	FAX　0559-21-9050	〒410-0058　沼津市沼北町 1-14-26
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042　浜松市篠ヶ瀬町 415　ビラモデルナ５号
金沢サービスステーション	FAX　076-291-6425	〒921-8005　金沢市間明町 1-130
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211　富山市二口町 1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001　福井市大願寺 3-5-9

●関西地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

拠点		電話	〒	住所
☆大阪サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322	堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
大阪北サービス認定店	FAX	06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京滋サービスステーション	FAX	075-682-7176	〒601-8448	京都市南区西九条豊田町24-1
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX	078-251-7173	〒651-0086	神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2

●中国地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

拠点		電話	〒	住所
☆広島サービスステーション	FAX	082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
岡山サービスステーション	FAX	086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1

●四国地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点		電話	〒	住所
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下１階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル１Ｆ
松山サービス認定店	FAX	089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル１Ｆ

●九州地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

拠点		電話	〒	住所
☆福岡サービスステーション	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和１丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立５丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-549-2420	〒870-0889	大分市大石町５丁目1-1
北九州サービスステーション	FAX	093-951-1748	〒802-0011	北九州市小倉北区重住3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX	099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル２Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄地区（沖縄県のみ）

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点		電話	〒	住所
沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター３Ｆ
	FAX	098-879-1352		

平成１５年１２月現在

長年ご使用のオーディオ製品の点検をお勧めいたします。こんな症状はありませんか?
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

修理窓口・ご相談窓口のご案内

ご購入後の製品の修理・お取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

＜ご注意＞市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルはPHS、携帯電話などからはご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、　土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品（PDP・DVDなど）のご相談窓口：**0070-800-8181-22**
：**【一般電話】03-5496-2986**

カタログのご請求窓口：**0070-800-8181-33**

ファックス受付：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

● **部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81095**

一般電話：**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81096**

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、必ず電源プラグを抜いてから、「保証とアフターサービス」をお読みになり、お買い求めの販売店へご連絡ください。
お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ。（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～20：00、　土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）

一般電話：**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話：**098-879-1910**

ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号 <VRB1232-A>